

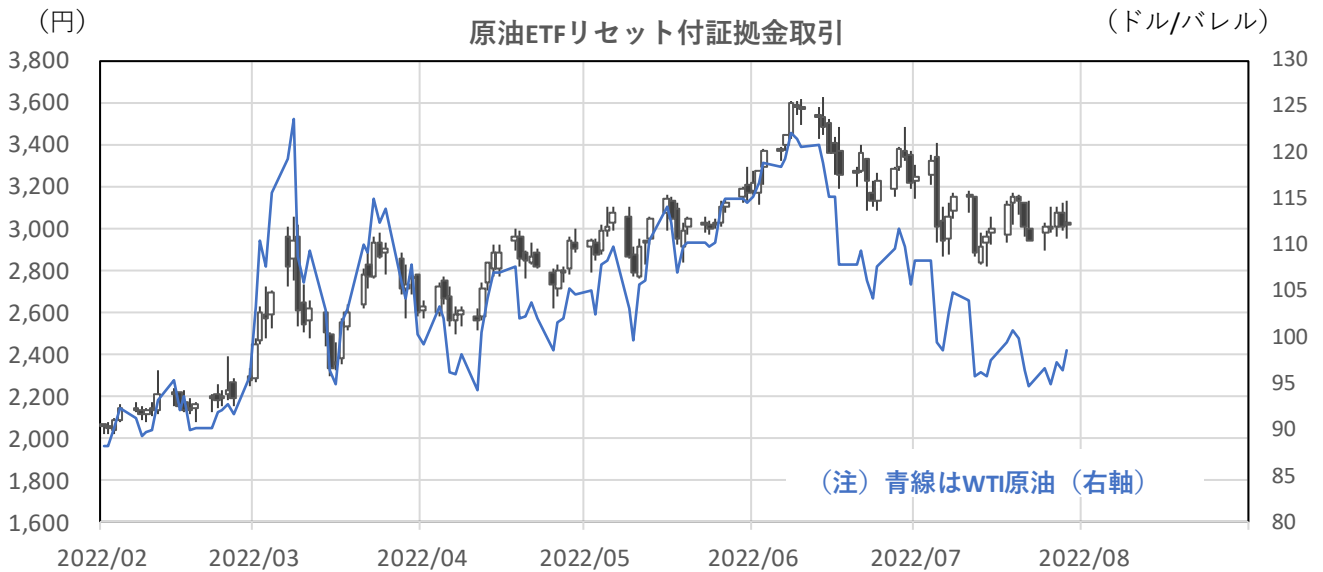
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/08/01号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

安値修正の動きが優勢に、一時100ドル回復

NY原油先物相場は、1バレル=98ドル台中盤まで切り返す展開になった。需要不安を背景とした売り圧力が一服し、安値修正の動きが優勢になった。世界経済の減速に対しては根強い警戒感があったが、供給不安の蒸し返しもあり、底固さが目立った。一時100ドル台も回復している。

国際通貨基金 (IMF) は2022年の世界経済成長率見通しを4月時点の3.6%から3.2%まで下方修正した。高インフレ、それを抑制するための各国の利上げ、中国の新型コロナウイルスの感染拡大などが、経済見通しの悪化を促している。このため原油需要見通しに対しても下振れ圧力が強まり易い環境に変化は見られない。ただ、需要不安の織り込みは約1か月にわたって続いていたこともあり、7月末にかけてはコモディティ市場全体で安値修正の動きが目立った。欧州天然ガス市場に混乱がみられたこと、石油輸出国機構 (OPEC) プラスの増産対応に懐疑的な見方、米原油・ガソリン在庫の減少、米連邦公開市場委員会 (FOMC) 後の株高・ドル安環境もポジティブに。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (7月22日時点) は、原油が前週比452万バレル減、ガソリンが330万バレル減、石油精製品が78万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

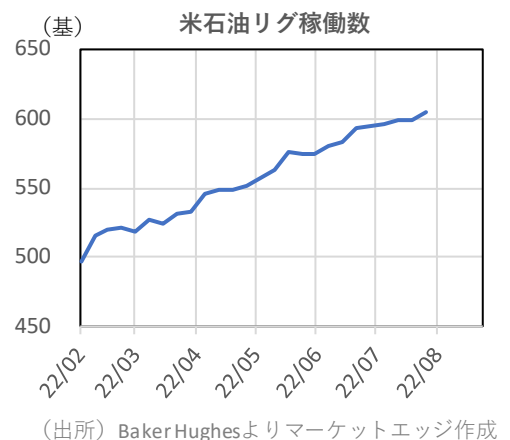
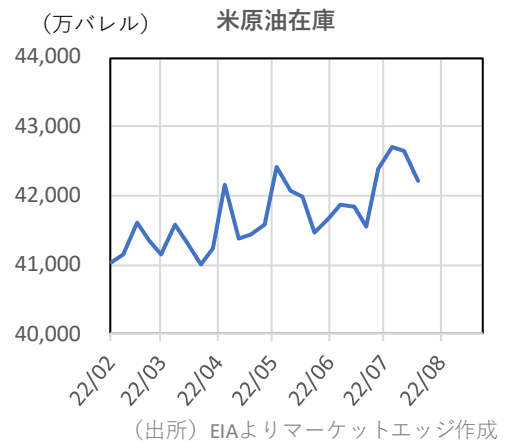
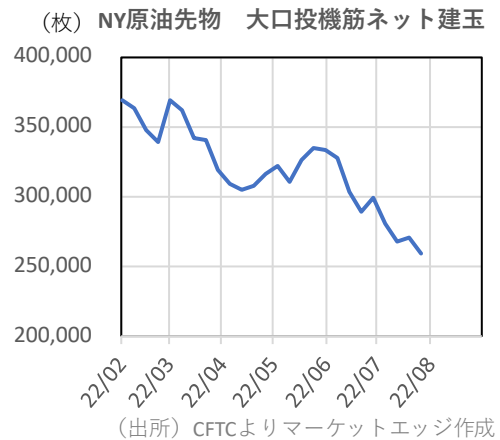
OPEC+は大規模増産見送りか、供給リスク再評価だと底固い

需要不安と供給不安が交錯する不安定な地合が続くが、急落地合に対しては一服感が浮上し始めている。欧州では、ロシアが「ノルドストリーム1」経由のドイツ向け天然ガス供給をほぼ半減させたことで、エネルギー危機に発展するのではないかとの懸念が浮上している。一方、8月3日にOPECプラス会合が予定されているが、大規模な増産対応は行われなとの見方が強い。このため、需要不安の織り込み一服感と、供給不安の再評価から、100ドル台乗せを視野に入れた底固い展開になり易い。

OPECプラス会合だが、事前の報道では生産枠の据え置きから小幅引き上げをベースに議論が行われている模様だ。7月はバイデン米大統領が中東を訪問して大規模増産を要請していたが、需要見通しの急激な悪化、原油価格の値下がりもあり、OPECプラスは9月の供給水準を大きく引き上げることを見送る可能性が高い。ここで改めて供給不安をテーマ化する動きがみられると、買い圧力が強まり易くなる。

また、欧州天然ガス市場の混乱が加速した際にも、原油相場に買い圧力が強まり易くなる。天然ガス相場の高騰が進むと、代替需要発生の思惑も強まり、原油相場がつれ高するリスクが高まる。逆にロシアが供給水準を元の状態に戻すと、供給不安の一服感から戻り売り圧力が強まるリスクを抱えている。

一方、世界経済の減速傾向に変化は見られず、月初に発表される各国経済指標が低調な数値になると、改めて戻りを売られるリスクも抱えている。特に米中の7月製造業・サービス業PMI、8月5日の7月米雇用統計発表などがイベントリスクになる。



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

